

I said the goodbye to all things excluding you.
Because there is only one thing that can be gripped by this hand.
Good-bye Goodbye Halo.

グ

グ

グ

グ

グ

グ

成人向

This coterie magazine is for adults.
Therefore, the person of less than 18 years cannot read.



グ
ッ
ハ
イ
ク
ー



それはとても
信仰に似た感情で

そして
あたしの全てだった



雛森くん：
君に剣の訓練を
つけていたときに

駄目だ…懐に入れない

何度も言った
筈なんだが

罅迫り合いに
持ち込むのは
得策ではないと

正面からじゃ
鬼道をたたき込めない

こんな風に
押しもどされる……つと



上をとつて……
狙う！

弾け！

『飛梅』！



この感情が信仰でないと
あたしはわかってる

信仰に近いモノであったと
過去にしてわかってしまっている

全て間違いだっただのと
世界に宣言されたこの感情が……

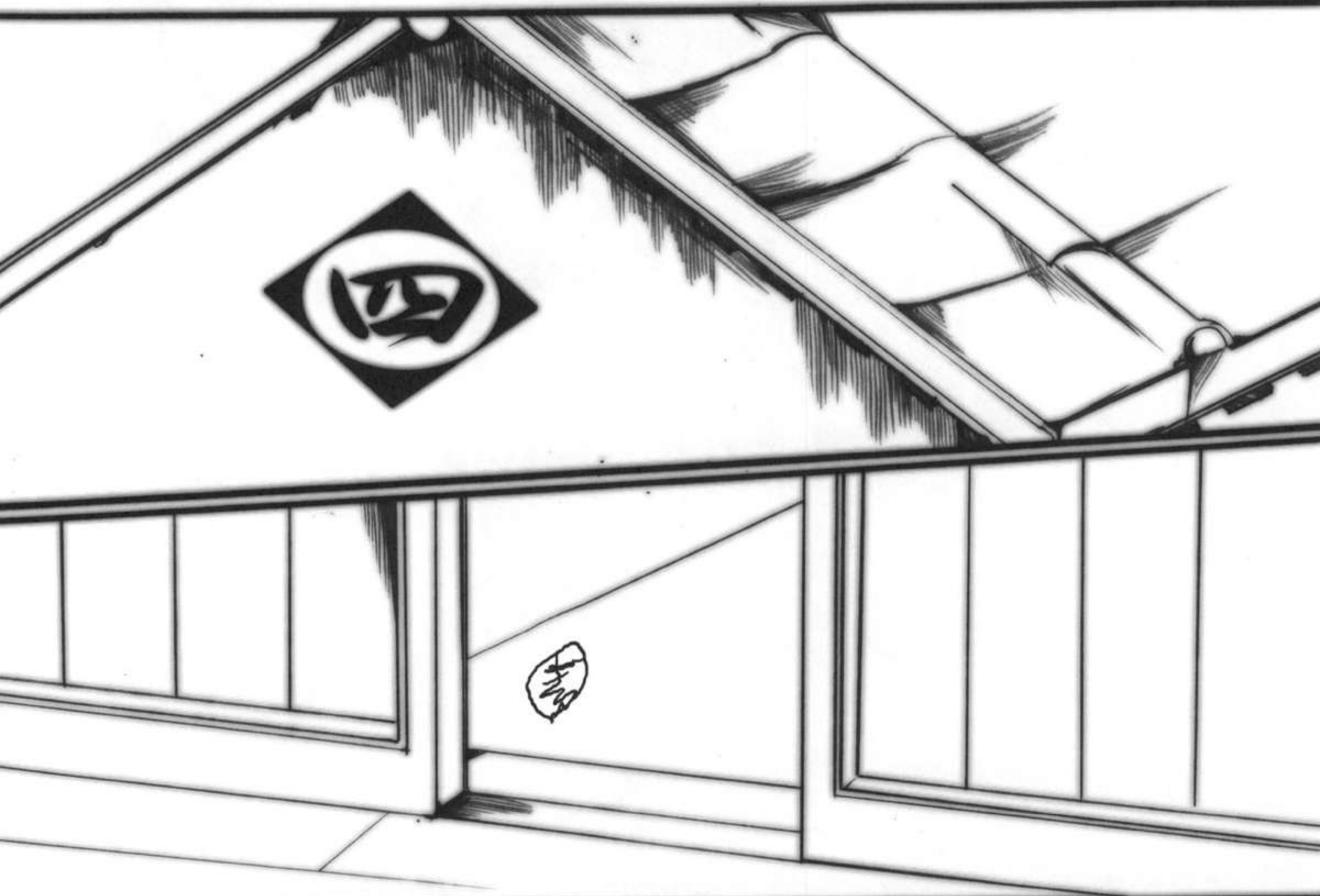
少しは
腕をあげたようだが

もうだいぶ
息が
あがっているようだね

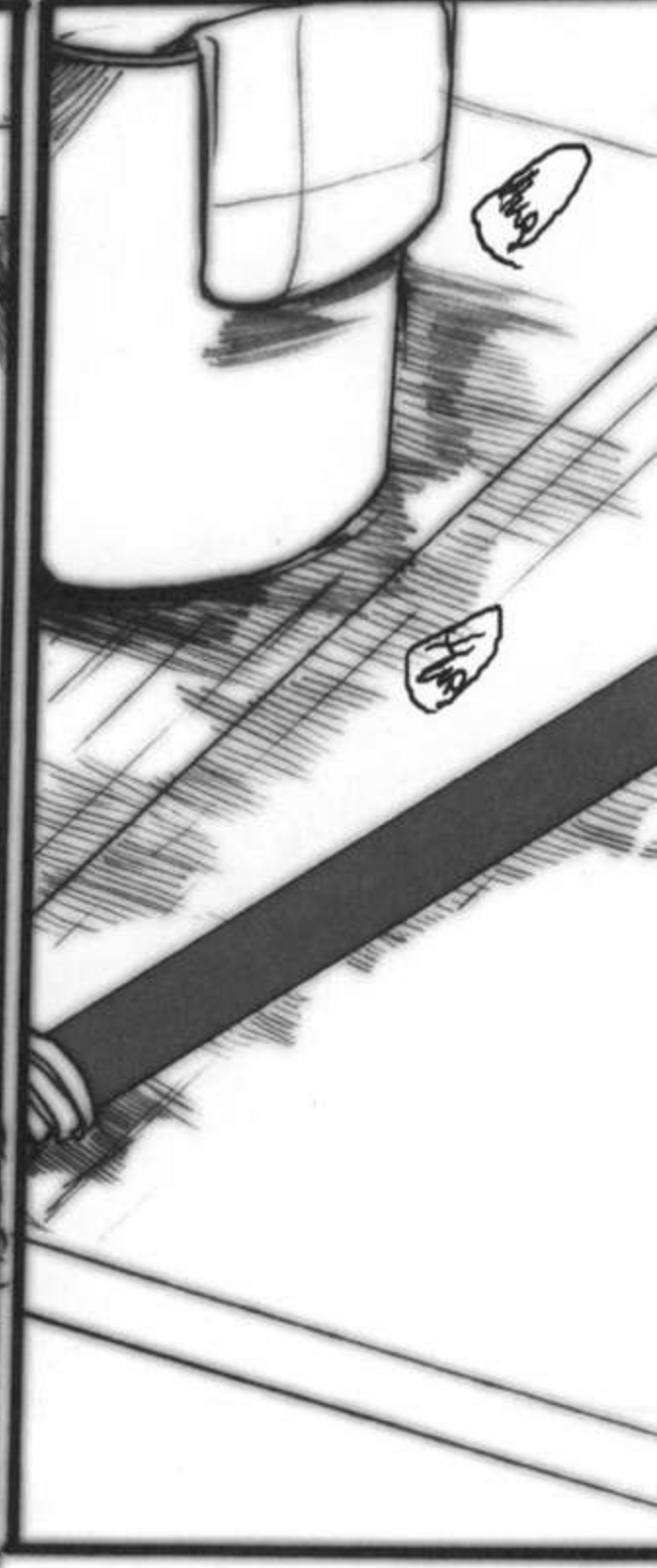
消えていく瞬間を
見送る為に


雛森くん

あたしは
『この人』に会いにきたのだ



ちよつと
探したわよ桃ったら！






何時こつちに
戻ってきたんですか？

さつきよ
さつき！

お仕事は
もう終わったんですか？
たしか…



おっ
目の下のクマは
きえてるわね



乱菊さん？

探しまわっちゃったわよ！
あちこち！

顔色も
良さそうじゃない

まったく隊長ったら
「まだ本調子じゃ
なさそうだから……」
って

桃の事
心配なクセに
会いに行かないんだもん

なーんか
しばらくこっちに
待機みたいだから

声かけてあげてよね
……って

12

桃？

……さい

ごめんさい
乱菊さん

日番谷くんは
あたしには
合いたくないと思う

藍染隊長を……

お願い……

酷いこと……言ったから



あんな……辛そうな顔を



日番谷くんに
甘えて……酷い事を

また
させてしまった



バカな事を言って

だから
本当に
会いたくないんだと

きつと
あきれて……

そんな事ないわよ
バカな事いわないの！



だって！
あたし日番君に





酷い事を言っても
甘えてくれる方が
良いわよ

自分を戒めるように
黙々と『過去の痕跡』を消す
作業に勤しんでいるくらいなら



あんたは
何も悪くない



ちよつと
せつかくクマがなくなって
可愛い顔になったのに！

眉根よせないの！



乱菊さん
あたしは……！

だから
自分を虐めるのは
やめなさいよ

でもね……乱菊さん

あたしは
何も償ってない

だって……
藍染隊長を思うと
泣きたくなる



泣く資格なんてないのよー



雛森くん



泣くな……

騙されたのだと
わかっけていても



寂しいと思って泣くなんて
なんて浅ましいんだらう
あたしは

幻でしかなかった
綺麗な思い出だけを思い出して

あの優しさは全部嘘で
痛みだけが本物だったのに

あたしの所為で
日番谷くんまで大怪我を
してしまったのに

…すねてません

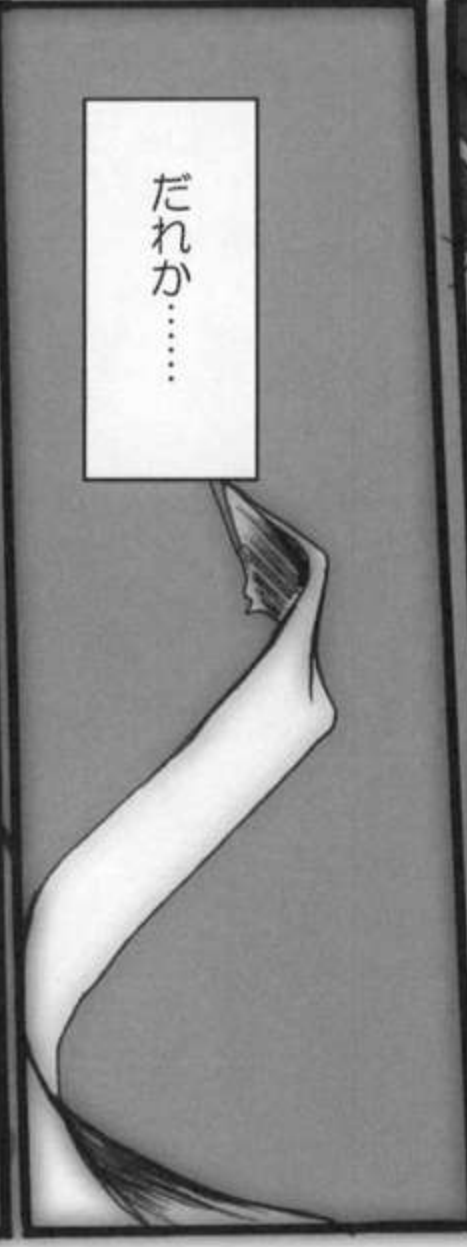
みんな優しくして
あたしを責めなくて
だからって

その痛みより
『居ない』事が耐えられなくて
泣くなんて……

う…

あたしも
裁かれなきゃいけない

大罪人を思つて
泣くあたしを



だれか……



この思いを
裁いて責めてくれれば

何…これ

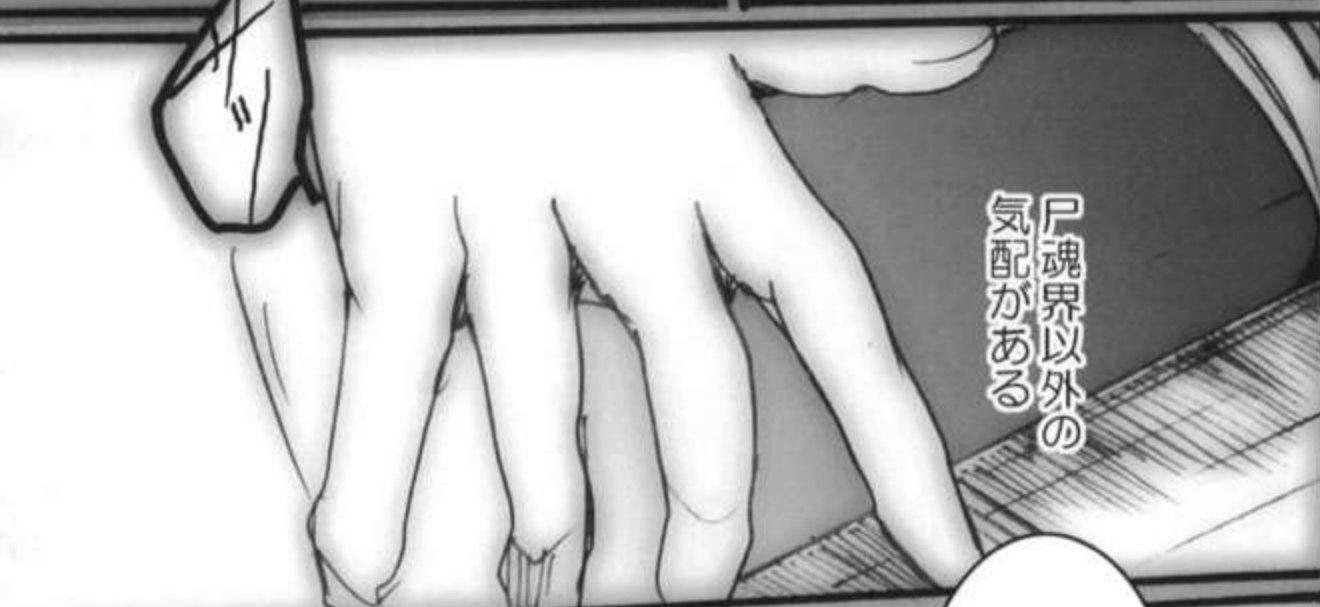
いったい何処から？





何……これ

だって
そこは床の間で……

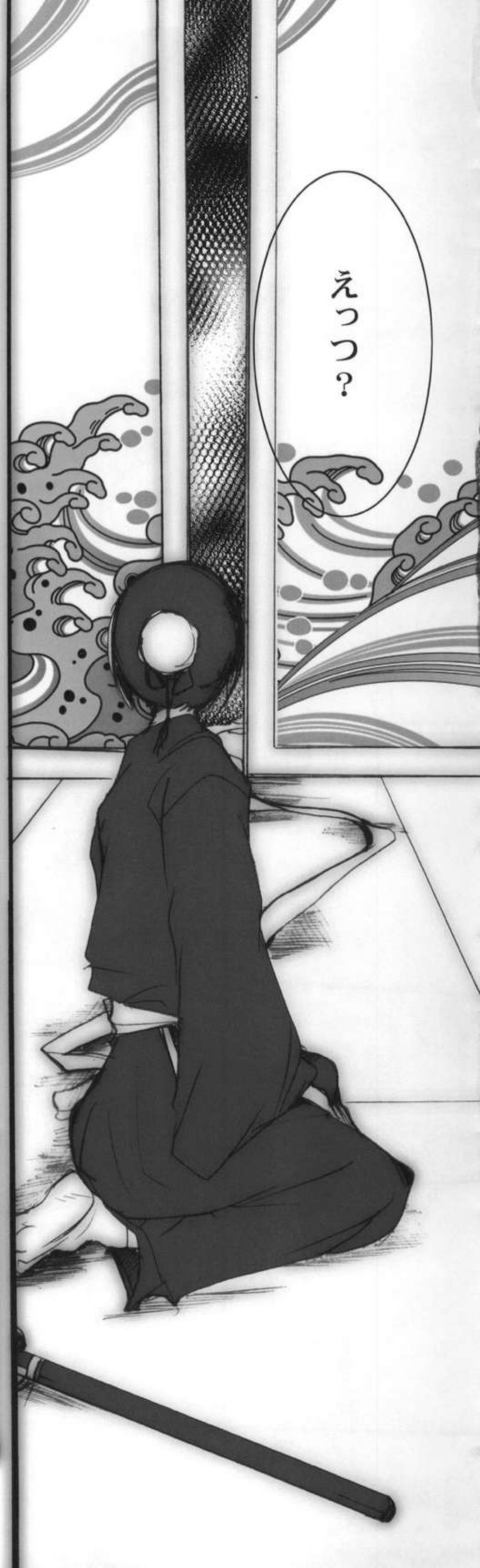


尸魂界以外の
気配がある

誰？



『扉』なんだ



えっつっ？

その声は……



雛森ちゃんか

泣いてる声やね
可愛いそうに



市丸……隊長？
どうして！

こっちに来たい？
藍染隊長がおる『虚圏』に



何か……ある
のだろう

あたしを呼ぶ
理由はないから

なんや上手く
滑り込めたから
今なら連れていてあげるで
どうする？

……たい

でも
そうなら




……ほな
おいでこっちは

此処より酷い場所に行ける
あたしに優しくない場所に行ける

そして
もし藍染隊長に会えるのなら


あたしは
戦わなくては
ならない



勝てるとは
思っていない




赤子と大人が
殴り合うよりも馬鹿げている




力の差など
知り尽くしている


22



それでも
あたしは『この人』に
剣を向けなければ……



しまった!



君は何を思っ
て
そこまで
剣を振りかざすのかな？

正解は
やはりまだか

無謀とも言える
この戦いに

二度も
殺し損ねられるか

私にも分からないよ？
雛森くん



ほら
もう簡単だ

……簡単です

その簡単な事を
あの隊長は
してくれませんでした

壊さなくては
いけない

だからみんな
私を責めないんです

あたしは
貴方を信じ切って
他の人を捨てたのに！

あたしは
生き残りました

貴方に殺されかけて
生き残りました

肢体に染みこんでいる
この感情を


自分で自分を
罰せなくては……駄目なん

あたしは
自分で貴方を殺さなければ
あの場所に帰られないです


全部壊れて

無くならければ
あたしはまた
誰かを傷つけてしまう


たとえ
貴方に殺されたとしても……
だから……



懐に入れる！
深くは無理でも
差し違えて



息絶える前に
この勢いなら刺す事は



痛みは後から
くるから……



これで終わりだ

えっ……あ

両手は……
濡れているけど

血の臭いが近い
痛みはまだ来ないけど

藍……染……隊長？

なんで……隊長

目を閉じて
相手を殺すのは

あたしを……刺すんじゃない

難しいんじゃないかな？
雛森くん

血が……でて

藍染隊長を

殺したいんじゃない

いや！
離して下さい

ちゃんと深く刺さないと
死ねないよ

だけど
あの場所にも居る事はできない

血が……出て
隊長……藍染隊長が

それに
ここは急所じゃない

雛森くんは
僕を殺して戻りたいんだろ？

ちが……っつ

僕を殺さないよ
帰れないよ？

終わらせて
もらいたかった

ちがう……あたしは！

帰りにも行けないから

もう僕を
殺さなくても良い？

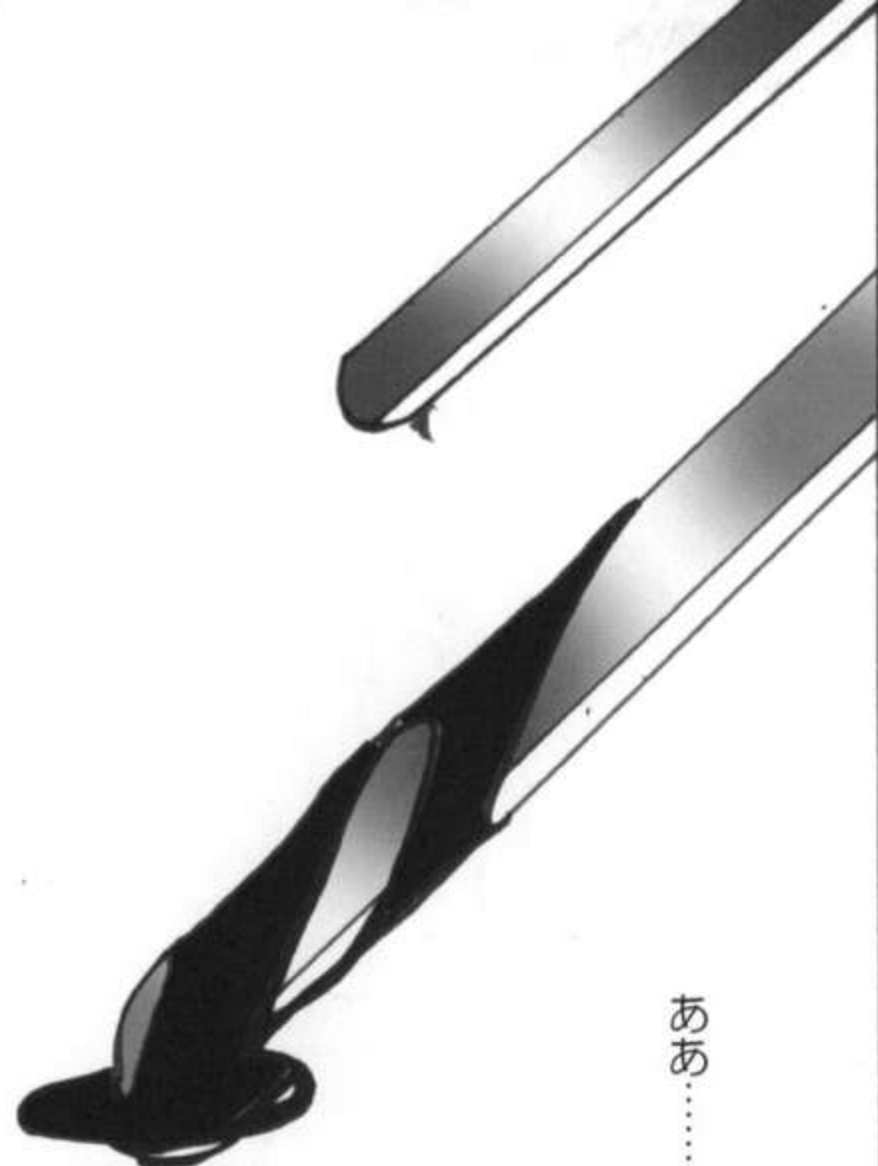


いや……隊長が
居なくなるのは……いやあ



もう
帰れないよ？

ああ……そうか

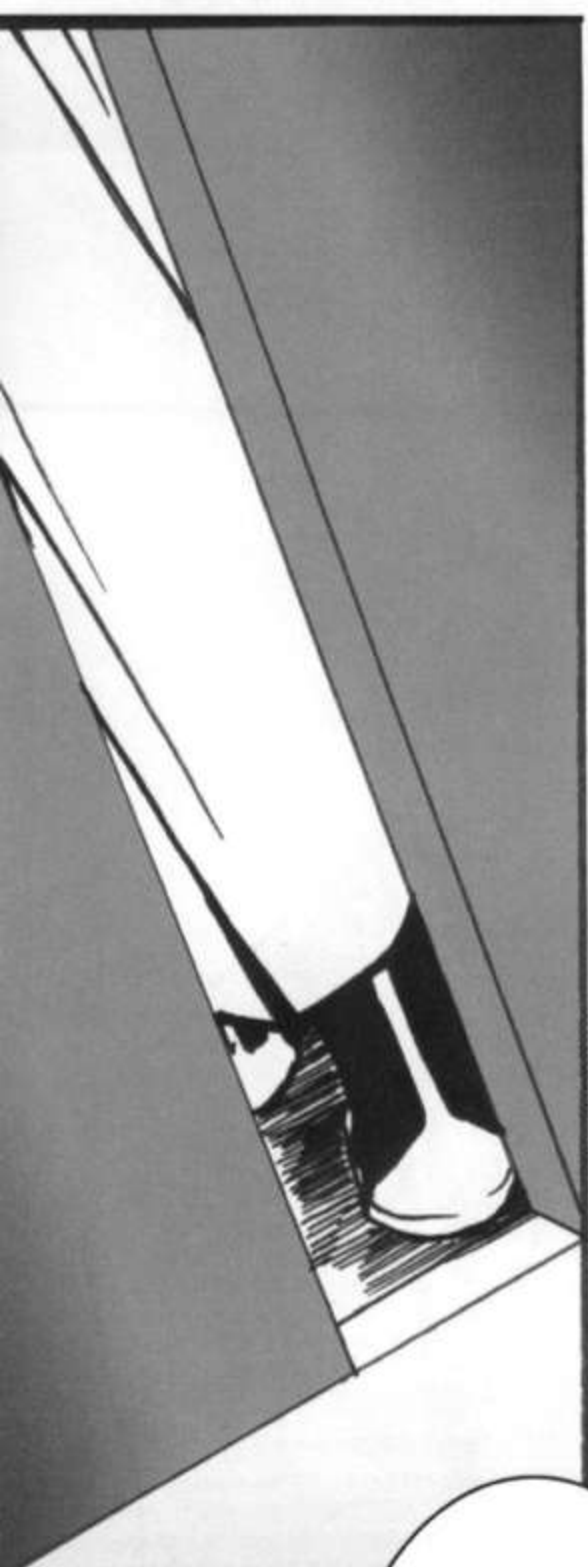


いい……から
だから……

ああ……雄森くんは
ずっと此処に
いてくれるんだね

あたし
帰れなくても……良かったんだ


なら
泣くことはないよ






余興はどうでした？

なかなか
楽しめたよ




そう言えば
何か侵入者が
来たみたいですよ

おかげで
こっちのドンパチは
気づかれて
ないみたいですねん




……タイミングが
相変わらず良いね
ギン

いややなあ
敵襲なんか
予測できませんよ



そうかな？




一応『十刃』
招集してますけど

全員集まるまで
時間かかりそうですよ

構わないよ
時間はいくらでもある

まあそう言うたら
そうですね……



あれ？
藍染さん……
手に血いついてますよ

『あの子』もう
壊してしまいはったん？



ああ……これは
私の血だよ

斬りつけられましたん？

いや
刺されたんだ

あたしは！

用のあるんは
雛森ちゃんやろ？

おや
まだ隊長って
言ってくれるんか
雛森ちゃんは

あたしに
何の用なんですか？
市丸隊長

暇つぶしにと
藍染さんの部屋に
落としたんですが

すんまへん
てつきり大人しゆう
してると思って

だから
此処に来た



いややろ？
ボクに殺されるの

ボクは加減できへんよ
誰かさんとはちこーって

ああ
やめときや



どーせなら
好きな人がええよな？

かあーいいな
雛森ちゃん素直で
だから
会わしてあげるよ



市丸……！


え？

藍染さんに




本当に……会わせて
くれるんですか？

あんな必死な
目えしてたのに



飽きたら考えるよ




そう言えば
あの子どーしましょ


どっかに
ほっぼり出して
他の奴らの
オモチャにでもします？



刺さってたんか



あきんかったら
可愛がりつづけるですね



それは
どうだろうね？

どんだけ繰り返しても
同じ事してそっや

おもしろいなあ
雛森ちゃんも
藍染さんも



日の光の下でも
月の光の下でも

次のページからは去年の冬に出した
『少女迷路でつかまえて plus』の再録になります。
お持ちの方は、申し訳ありません。
エロ原稿がこの入稿に間に合わなかったので、苦肉の策です。

一応、話のつながりがあるので（雛森ちゃんが隊長の所にいる）
これ幸いな感じも少し……。
口絵はその時の表紙です。姑息に胸をタイトルで隠してましたが解禁です。

この本に関しては……
えっとすいません捏造です。
ちょっとギン→雛森ちゃん？といった感じもありますが
どちらかと言うと、隊長と雛森ちゃんを楽しんでいる？感じの
中断待機な彼です。

お楽しみいただければ幸いです。

それではまた。 清川 恒光。

ほんやりとっころ
そう、まるで
頭の中が霞がかかっているように

自分の名前は
覚えているのに
それ以外は分からない

思い出せない
そういった方が
正しいのかもしれない

でも
そんな現状に不安はない

ただ…あたしは
言うことを聞いていればいい

藍染様の…言うことを
それだけときいてれば
不安はないから

ただ
それでも分からない事がある

霞がかかっている
景色なのに

ゆるゆると
水面に浮上するみたい
誰かの事を
思っている瞬間がある

誰かの事を...

まあ... 朕が
なっていないという事なら

床にこぼすのは
行儀が悪いね

あたしは
あたしの名前しか分らないの

飼い主の責任と
言えるかもしれないが

ほら
ちゃんと全部

あの人だか
分らないのに

桃
舐めとりなさい

はい...

思い出しては
いけないと... それだけはわかるの

そう…思い出しては
駄目

怖かったろう
もう大丈夫だ

藍染様に
触れられているときは

いつもより
記憶の波が鮮明になるから

目を閉じて
耳を塞いで

藍染様の事だけど
考えて…いないと駄目…だから

呼ばないで…

桃？
どうしたんだい？

雛森くん

そうしなければ
あたしは、此処にはいられなくなる

此処に…?

申し訳…ありません

藍染…さ

いつまで
休んでいるつもりなのかな?



さつさと
脚をひらきなさい

藍染様の側以外に、いく所があるの?

はい…



この場所以外の何処かに
あたしはいたんだと
分かっている

でも、それ以上は
思い出したくない
何もわからなくていい

まだ
最後まで
入れられてないね

あ…藍染さ…ま

桃



雛森くん

このままでも構わないが

どうしよう
繋がっている感覚が
別の事を呼び寄せてしまう

動くのは
できるだろ？

藍染様の声を
浮かび上がる人のモノに
変換してしまう

は…いつ



…いつか



思い出して…
し…まう…のが

そう…か



こわ…い
から…藍…染さま

…桃？

隊長は…？



やあつ…駄目です
これ…以上はあつ！

隊長は…
藍染さまとは…

んんん

んん

んん

いやっ！
怖い……！

あっあっ

桃……こつちを
みなさい

藍染様……
怖い……何か……あたしの
中で……何か……きて

思い出したら
また…思い出したら

桃…！

桃…！

いやなの…
もう…置いていかれるのは

『僕』の目を
みなさい…

怖い…から
何も考えたくないから

だから…！

あ…いぜん

あい…

このままで
いいから！

あい…ぜん
たいちよ…うっ

雛森…くん？

やあ…うっ
たすけて…下さうっ

たい…ちよおつ

ら…めえ

藍染…うっ
隊長お…！

クン
クン
クン



た…いちよ…



こちらを…うん
僕をみなさい



雛森くん

藍染…たい…ちよう

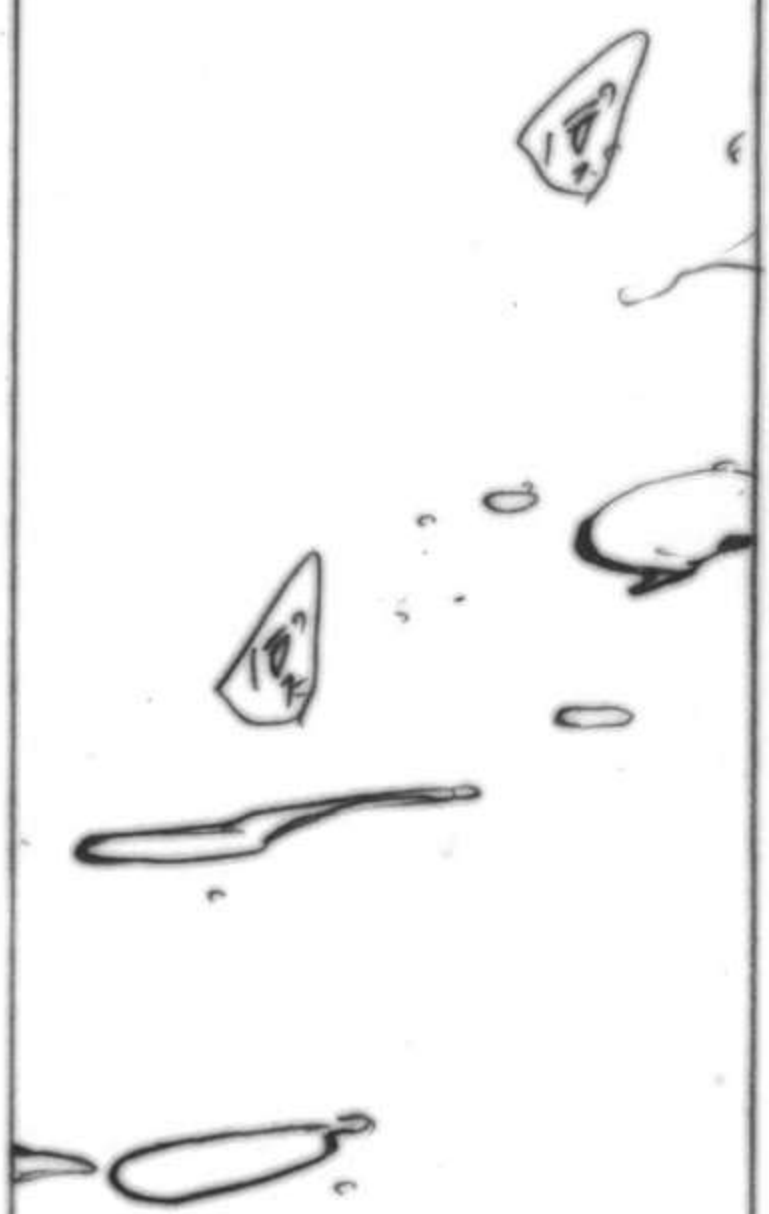


たい…ちよう

藍染隊長…
また…あたしを…



そう…良い子だ



……まだ
催眠は不完全か


『藍染隊長』の
仕込みの方が
強いというのも……困る話しだな

『グッバイヒーロー』

発行日 2007/08/18 発行
発行者 清川恒光
印刷 / 株式会社 松本コロタイプ光芸社様
助っ人様。うづきさん。ありがとう！

IO/I9 清川恒光 side (創作+死神+再生+鋼)
URL <http://www5b.biglobe.ne.jp/~c10-19/10-19/>
MAIL tasogare@panda.biglobe.ne.jp

本書は成人向け指定ですので 18歳未満の方の購読は、お止め下さい。
禁！無断転載・複製・複写
また、ネットオークション転売はご遠慮下さい。



BLEACH Fanbook
Sousuke Aizen * Momo Hinamori
10/19, Tsunemi Kiyokawa, 2007/08

Goodbye Halo